

2000年の歴史を持つ冊子体という基本構造が変化  
使う本と味わう本



# 解体する 本の世界

× 本が電子化される

○ 新しい本の概念が成立する

> 情報の入れ物として本という構造にすべて押し込めてきただけ

» 本であったのが間違いだったもの

> 辞書

> 地図

> 古くは音楽

> ……

2000年の歴史を持つ

冊子体という基本構造が変化



|          |              |
|----------|--------------|
| » 味わう    | 詩            |
| » 読む     | 小説・エッセイ      |
| » 読む、調べる | 専門書・実用書      |
| » 引く・調べる | 辞書・事典・レファレンス |
| » 使う     | 問題集・参考書      |

» これだけの差があるのにひとつのフォーマット/アプリ/  
ビジネスモデルで対応できるわけがない

使う本と味わう本 >

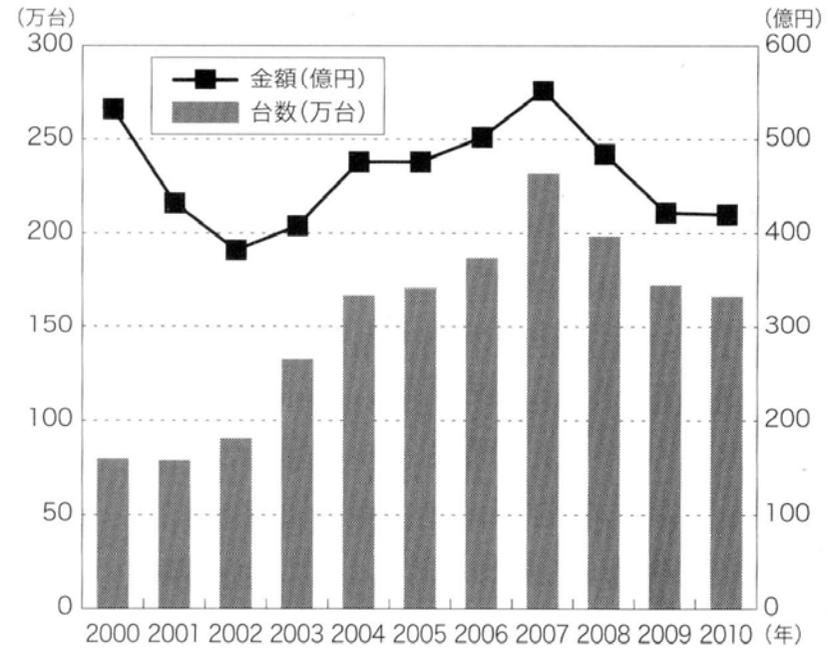
紙であったことが間違いの代表

辞書・事典



## ■電子辞書国内出荷実績推移

| 年    | 台 数  |        | 金 額  |        |
|------|------|--------|------|--------|
|      | (万台) | 前年比(%) | (億円) | 前年比(%) |
| 2000 | 266  | 70.1   | 160  | 67.2   |
| 2001 | 216  | ▲18.6  | 158  | ▲1.4   |
| 2002 | 191  | ▲11.8  | 181  | 14.7   |
| 2003 | 204  | 7.0    | 265  | 46.1   |
| 2004 | 238  | 16.9   | 334  | 26.3   |
| 2005 | 238  | 0.0    | 342  | 2.3    |
| 2006 | 251  | 5.5    | 374  | 9.4    |
| 2007 | 276  | 10.0   | 464  | 24.1   |
| 2008 | 242  | ▲12.3  | 397  | ▲14.4  |
| 2009 | 211  | ▲12.8  | 345  | ▲13.1  |
| 2010 | 210  | ▲0.5   | 333  | ▲3.5   |



※(社)ビジネス機械・情報システム産業協会より

「出版月報」2011/9

カシオ計算機の公表資料による

# IC辞書の市場



## » メーカー主導

- > 辞書の種類が限定される
- > 英和はジーニアス 国語は広辞苑

## » コンテンツ・バンドルの問題

- > 150点収録などすでに限界に近づく
- > コンテンツの別売は不調

## » 出版社が主導権を取り戻せるか

- > 医学書院の「看護医学電子辞書」

# IC辞書の問題点



## » カシオのOEM

- > 1000台から受注

## » 成功の原因

- > 特定専門分野
- > 必要性を持つ特定ユーザーの存在
- > 営業力



出版社が販売するIC辞書



- » 辞書・事典、レファレンス、家庭の医学…
- » 「いつか役に立つだろう」商品
- » 仮想的な市場は大きい
- » 従来は改訂での需要創造
- » 会員制での取り込みができる大きい

備蓄型商品



- » 月100円 × 10万人 × 12カ月=1億2000万円
- » 会員をやめると閲覧不可
- » 安くても継続してくれるほうがありがたい
  
- » ランニングコスト ゼロ
- » 収入の安定化
- » 法人会員などB2Bも欲しい

# 会員制の魅力



もともとWebと競合する世界

# 実用書



» BizRepo <http://www.datadeta.co.jp>

- > 総務系の記事が検索利用可能
- > 7日間5,250円～1年間28,800円

» ルーラル図書館(農文協)

- > 年間24,000円、2000頁/年

雑誌記事活用型



## » O'Reilly Safari Book Shelf

<http://safari.oreilly.com>

- > O'Reillyをはじめ数社の連合サイト  
+ 複数出版社の協力体制
- > 数千冊のコンピュータ専門書が検索可能
- > 28ドル会員なら10冊/月閲覧可能

企業連合型



## » CookPad

- > <http://cookpad.com/>
- > 典型的なCGMサイト

## » みんなの今日の料理

- > <http://www.kyounoryouri.jp/>
- > NHKの番組の総まとめサイト+投稿レシピ
- > 基礎講座もある

## » AllAbout の料理ページ

- > <http://allabout.co.jp>
- > 基本・こだわり

## » 使い慣れた料理本も捨てがたい

- > 基本レシピに戻る(座標軸になる)
- > メニュー数が限定されていることも大切なポイント

# 料理レシピ



読み物を電子化して何かいいことがあるのか？

# 読み物系



- » いつでも持ち歩いているケータイ電話
  - > もっぱら暇つぶし読書←最適媒体
  - > 24時間どこでも次の巻が買える←本代がたまらない
  - > キオスクで文庫本を買うノリ
- » マンガはあまり読まないのもっぱら活字本
- » エンタメ系はもっぱら電子書籍  
ただし
- » ライトノベルなどコレクション系は印刷本に限る

私にとっての電子書籍 1 ▶

## » 私が必要な本は残念ながら印刷本しかない

- > 「OnDeck」は外ではスマホ、家ではタブレットで愛読
- > 私が購入する本はたいてい横断検索が必要
- > 引用もしたいのでPCでも読め、コピペできることが必要

### > 最近買った本で検討してみた

変体少女文字の研究 / 和本入門 /  
舟を編む / ウェブ進化 最終形「HTML5」 / フットパス・ベストコース /  
EPUB 3 スタンダード・デザイン / 電力会社を九つに割った男 /  
CGI & Perl ポケットリファレンス / クライマーズ・ハイ /  
とある飛空士への恋歌 5 / 尾瀬植物手帳 /  
とある飛空士への恋歌 4 / 送配電の基礎

(検索・コピペが必要 別アプリ化 まあ読むだけでいいかな  
コレクションアイテム)

## » 読み物系といっても実はさまざま

# 私にとっての電子書籍 2 >

BL/マンガの日本とアメリカの電子書籍はどう違うのか

アメリカを考える



» ハードカバー/トレード・ペーパーバック/マス・  
マーケット・ペーパーバック

- > ハードカバー 新刊 分厚い表紙
- > トレード・ペーパーバック 一回り小さくてペラペラの表紙
- > マス・マーケット・ペーパーバック 手のひらサイズの本(消耗品)

» 平均価格(2003年)

- > ハードカバー 63.33ドル
- > トレードペーパーバック 32.85ドル
- > マスマーケット・ペーパーバック 6.37ドル

» 軽いことと安いことはアメリカでは大きな魅力

アメリカの読書事情 >

» バカンスに本を抱えていくアメリカ

- > 教養主義・ブッククラブ(ソーシャルな読書)
- > 厚い。簡素な装丁。

» お手軽な文庫を読む日本

- > 大衆指向
- > カラフルで凝った表紙や口絵

» アメリカで流行ったからといって、そのまま日本に当てはまる現象ではない。

読書習慣の差



- » 主流のコンテンツは何か
  - > 残念ながらWebがもっとも主流のコンテンツ
  - > モノクロ・反射型液晶でWebを見る人はいない
- » 読書はあらゆる端末にあって当然の機能
  - > スマホもタブレットもPCもすべて読書機能を持つ時代
- » エンタメ系の読書はガラケーで十分
  
- » むしろモノクロ・反射型に読書が押し込められることを危惧

# 読書専用端末



## » DS電撃文庫

- > 電撃文庫の人気作をサウンドノベル化
- > 全ページバックにカラー画像
- > 効果音のみ

## » 同人系のゲーム

- > ヒグラシの鳴く頃
- > Fate
  
- > コストが低い
- > 新たな表現形式の可能性
- > マルチエンディング・ストーリー？

# サウンドノベル



## » ことのは出版

+ <http://www.kotonoha.co.jp/>

> ナレータによる朗読

## » ユニバーサルデザイン

> 読み上げ機能(TTS)

## » 黙読に慣れた身には辛い媒体

> 時間系を支配される

# 朗読本



» 現状では機能面ではたいした利点はない

» 流通という面では大きなメリット

- > 即時性 24時間営業 いつでもどこでも
- > 気楽に読書が楽しめる
- > 在庫負担、絶版は原則ない
- > 貸本・配信など提供手段が多様化
- > 制作コストが少ない

» 一口に読み物といっても、本の種類によってもっと分化して良いのではないか？

読み物を電子化して何かいいことあるのか？



- » 味わう 詩
- » 読む 小説・エッセイ
- » 読む、調べる 専門書・実用書
- » 引く・調べる 辞書・事典・レファレンス
- » 使う 問題集・参考書

» とりあえずは電子書籍でも良いが、長い目で見たら電子化のそれぞれの道を模索することが大切

» 「スライド 変化する本の世界」へ続く

解体する本の世界 >

# 電子コンテンツのもたらす変化

レイアウト

場面・状況に対応

情報パッケージ概念

受け手と送り手の関係性

# レイアウト概念の変化

---

- 本はなぜ縦長なのか?
  - ページをめくるのに便利
  - 字詰めが長すぎると読みづらい
- ページは必要か?
  - Pageという概念の変容
- 見開き文化?
  - 印刷媒体をそのままPDFにする愚
    - レイアウトとは媒体に合わせてデザインすること
- レイアウトの流動化
  - 端末にあわせてレイアウトを変更

# 本はなぜ縦長なのか？

場面・状況に応じて  
コンテンツを変化させる

---

- 情報を生産する場面では
  - 情報の生産場面は大きなディスプレイの中
  - 必要な情報も大きなディスプレイの中で受け取る
  - しかし通読は電車の中
- 読むことが目的のもの
  - どこで読書をするのか？
    - 電車の中／寝ながら／トイレ／風呂場
- 何かのために読むもの
  - 部品化された辞書(読書端末の中の辞書など)
  - 商品にビルトインされた本(HELP、電子番組表)
  - 台所には台所用ディスプレイが必要だよね

## 場面、状況に対応する

# 私の台所環境

- 目の前にはiPad
  - WebページやEvernoteのレシピ
- ポケットにはスマホ
  - 音声で入力できる買い物リストアプリ
- メニューの検討
  - 状況によりタブレット・スマホ・PCが使われる

# フロー・ピンポイント・パッケージ

---

情報のパッケージングを考える

ばらばらにあった方がいいものと  
まとまっていた方がいいもの

# Webは情報の混沌

- Googleはそれをピンポイントで検索する
  - 情報全体はまとまりを持たなくて良い
  - 非パッケージ型
- リンクという新しいストリーム
  - ここでは情報の境界がなくなる
- 情報を固定するか→情報を流動化するか
  - 情報は常に最新

- パッケージを外してみる
  - 統合検索サイト
  - Google
  - リファレンス
  - 小項目主義の百科事典
  - 和英辞典
- パッケージ性を持つもの
  - 大項目主義の百科事典 (ex.Wikipedia)
  - 学習向け英和辞典
  - 体系が必要なもの
  - 小説・エンターテイメント

パッケージされたほうがよい情報  
されないほうがよい情報

# パッケージ型を見直してみる

- 教科書、入門書など
- ストリーム＝体系、理解の順序
- 適切な分量＝これだけ覚えればひと区切り
  
- 「はじめてのCプログラミング」＝パッケージ型
- 「C言語リファレンス」＝非パッケージ型

# 情報のパッケージの別側面

- パッケージ型
  - 従来の本と同じ構造
  - 価格を付けやすいし受け入れやすい
    - 電子書籍は商品にしやすい
- 非パッケージ型(検索型サービス)
  - 会費制は読者にとって敷居が高い
  - 必要性・企画性がカギか？
  - 情報量が重要

# フローとその集積

- 流れる媒体—新聞・雑誌など
- それをまとめるとデータベースになる
  
- BizRepo ルーラル図書館
- 新聞記事検索(無料⇒有料へ変化)
  - 広告モデル→会員制有料コンテンツモデル
  
- Safari Book Shelf
  - 常に新刊
  - ひとつひとつはパッケージ型
  - ピンポイントの検索 非パッケージ型

# 物からサービスへ 所有から利用へ

---

概念ではなく読者が便利と思えるサービスを考える

# 電子書籍は物販的？

- ダウンロード型は物販的側面
  - 会員である限り読めるというDRMはサービスの側面？
- Safari Book Shelf のような大量コンテンツ閲覧モデルなど会員制サービスは多い
- 概念としては分かるが、よりサービスとしての側面を打ち出してみたらどうか
- 読者を徹底的にサポート→ワンストップ・サービス

## 蛸壺型ポータル(ワンストップサービス)

- 限定された分野のポータルは可能
  - 無料の良質な記事
    - 集客がすべてに優先する課題
  - 関連するサイト(業種)との関係
    - リンク・サービス提供
      - 各種手配・物品販売(\$)
  - 有料コンテンツ販売(\$)
  - 読者参加
  - 広告(\$)
- 
- 読者は本代の数百倍の経済行動をする
  - コンテンツはさまざまな業種をコラボレーションする鍵

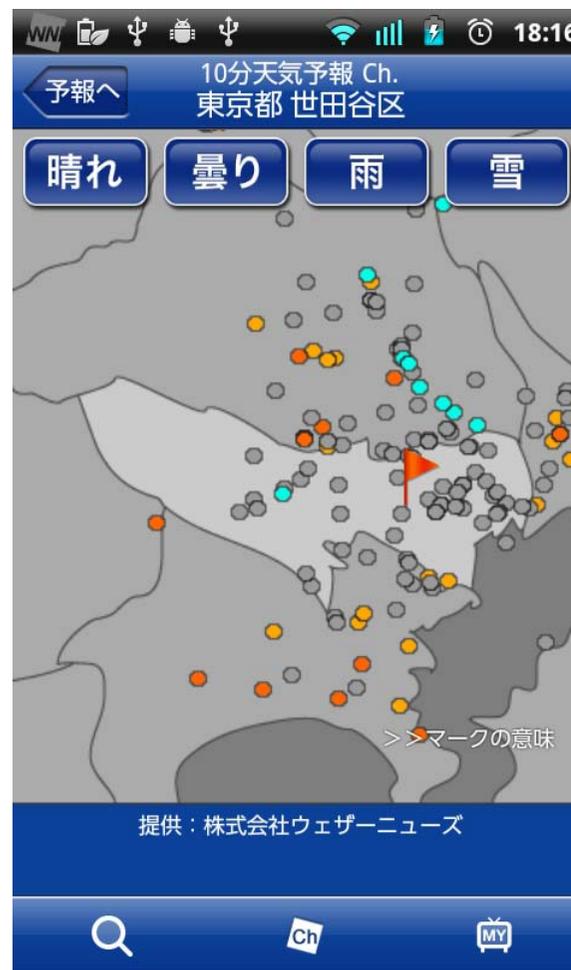
# CGM

---

送り手と受け手の関係が曖昧に  
読者をプロモートする時代

# Weather Newsの有料会員

- 10分間天気予報
  - ユーザーが現在の天気を報告
  - それを集積して10分後の天気を予報
- 有料会員(300円/月)
  - 有料会員になると天気レポートを送れる
  - 夏にはゲリラ雷雨防衛隊になれる
  - それ以外のメリットは普通の人にはあまりない
  - にもかかわらず...

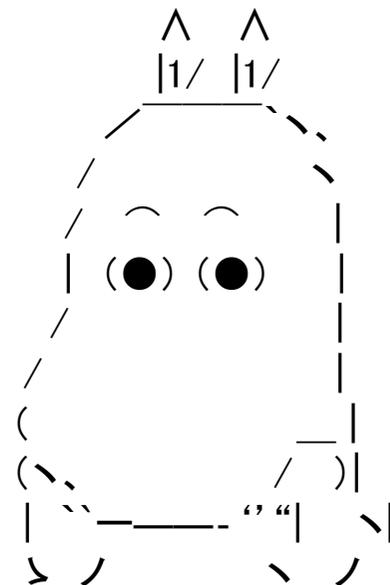


# 送り手と受け手の関係が曖昧に

- ブログ
  - ブログ本
- ケータイ小説
- 参加型コンテンツ
  - 2チャンネル・ニコ動・クックパッド
- wisdom of crowd
  - Wikipediaなど
- Consumer Generated Media (CGM 消費者生成メディア)
  
- 参加者をプロデュースする企画・編集を考えてみる
  - 「地球の歩き方」のような本もある

# 「電車男」に見るCGMと編集

- 2チャンネルのスレッドを作  
品化 (毒男板「男達が後ろから撃たれるスレ」)
- 「中の人」がログを編集→別サイト化
  - “あらし”を排除(残ったのは6.4%)
  - 章立て
  - リーダーを入れる
- 権利者は誰なのか？
  - ひろゆき？ 電車男？
  - エルメス？ 中の人？



でも、友達にはよくムーミンに似てるって言われるんですよw

# 「地球の歩き方」にみる編集

- **ダイヤモンド・ビッグ**
  - 就職内定者の海外研修ツアー一幹旋→「自由旅行」に発展
    - 帰ってきた学生の体験談を取り込む
- **宣伝媒体として作られた小冊子からスタート**
  - 若い旅行者を巻き込み新しい地域のガイドブックを増やしていく
- **安全情報をめぐるバッシング**
  - 情報の正確さ確保—確認できた情報、クレームのあった安宿やレストランは基本的に載せない
  - 投稿は減ったがガイドブックとして発展

# 出版の明日へ歩きだそう

インキュナブラからの脱皮

- 最初期の活字印刷物
- 15世紀（グーテンベルク聖書以降、1500年まで）に活版印刷術を用いて印刷されたもの
  - 揺籃印刷本
  - ラテン語でゆりかごの意



グーテンベルク 42行聖書

インキュナブラ incunabula

- ゲーテンベルクのビジネスモデル
  - 写本とそっくりの本を大量に複製
  - 写本と同じようにこんな特徴を持つ
- タイトルページがない
  - 1480年代に登場
- ノンブルがない
  - 1499年（アルドゥス・マヌティウス）
- 大型本
  - 八つ折半（マヌティウス）
- 奥付がない
- ...

## インキュナブラの特徴

- インキュナブラは50年
- 電子出版のインキュナブラ脱皮
  - 「本の電子化」からの脱却
- その時、出版社はそれを担っているのだろうか

新しい本？ーインキュナブラからの脱皮

- 電子書籍/電子辞書...
- ブログ/ホームページ/携帯サイト/BBS/SNS/ゲーム...etc.
- 「電子出版」というジャンルはない
  - 「電子出版」とは情報の流通革命によって現れる新しい媒体を旧来の出版社の視点から見て呼ぶ呼称
  - 出版が電子化されるのではなく、新しいメディアに出版社が取り組む姿勢

電子出版とは??

- 流行に振り回されない
  - 流行に乗るのは大いに結構、でも...
- 不用意に金をかけない
  - 電子出版は「貧者の印刷機」でなければいけない
- 宣伝しなければ売れるわけがない
  - 紙の書店のような便利な装置はまだない
  - Netは「貧者の電通」
  
- まず自分が読者になる
  - 本を読まない編集者やってませんか？

電子出版に取り組む

# 最後に



鑑板とスタイルス

- 情報は冊子体から自由になった
- 変化する送り手と受け手の関係
- 変わるもの変わらないもの
- 創作という行為は不滅
- 編集というサービスは不滅